

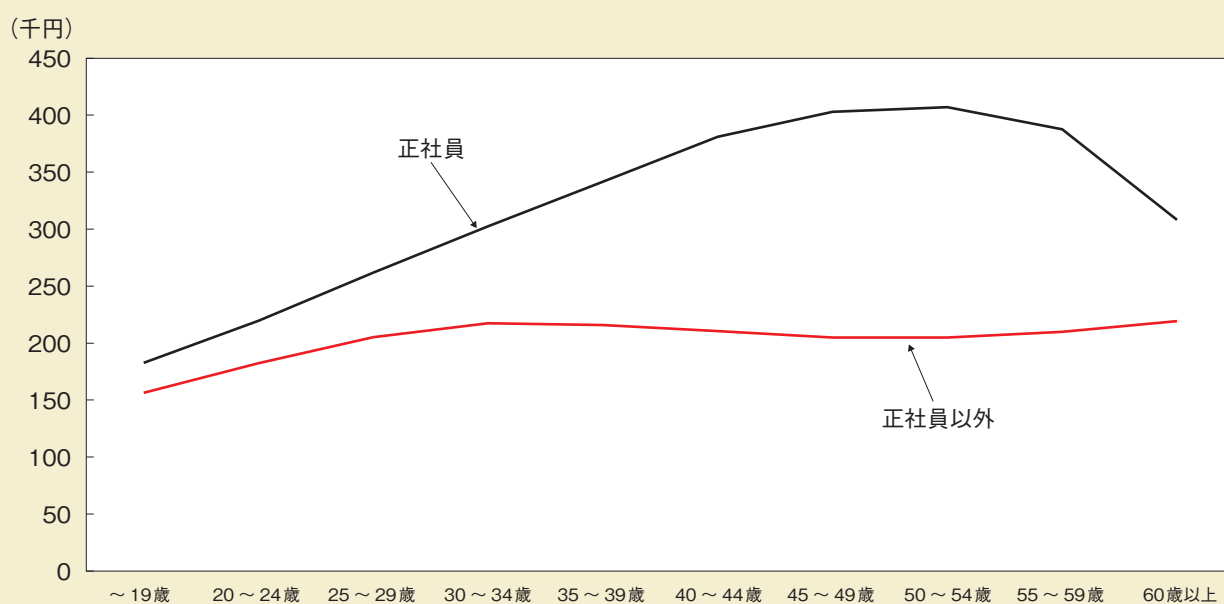
(雇用形態によって賃金、勤続年数には大きな差)

第1 - (1) - 19図により、正社員と正社員以外の賃金カーブをみると、正社員は年齢の上昇に伴い賃金も上昇しているが、正社員以外では、年齢を重ねても賃金はほとんど上昇していない。また、第1 - (1) - 20図により、雇用形態別に平均勤続年数をみると、正社員は年齢の上昇に伴い、勤続年数も上昇しているが、正社員以外では、勤続年数がほとんど上昇せず、年齢を重ねるに従って正社員との間に勤続年数に開きが生じている。1990年代半ば以降、非正規の形態で働く人は増加してきたが、その勤続年数は正社員に比べて短く、長期勤続を通じた職務経験の蓄積や職業能力形成が困難となっている状況がうかがえ、その結果、賃金の格差が生じている。

(非正規から正規への転職は困難)

第1 - (1) - 21図により、転職入職者数の推移をみると、2006年の310万人をピークに低下し、2009年は284万人となった。転職入職者のうち前職が非正規雇用の者は、2007年の180万人をピークに低下し、2009年は161万人となった。さらに、前職が非正規雇用で正規雇用へ就いた者は、2005年の41万人をピークに、2009年は34万人となった。前職が非正規雇用の転職入職者のうち、正規雇用へ就いた者の占める割合（正規雇用化率）をみると、2009年には21.1%と低い水準にあり、2005年の23.0%以降低下傾向にある。前述のとおり非正規の職員・従業員のうち正規の職員・従業員への転換を希望している割合が多いにもかかわらず、現状としては非正規から正規に転職入職する労働者数もその割合も低下していることがわかる。

第1 - (1) - 19図 正社員及び正社員以外の賃金カーブ

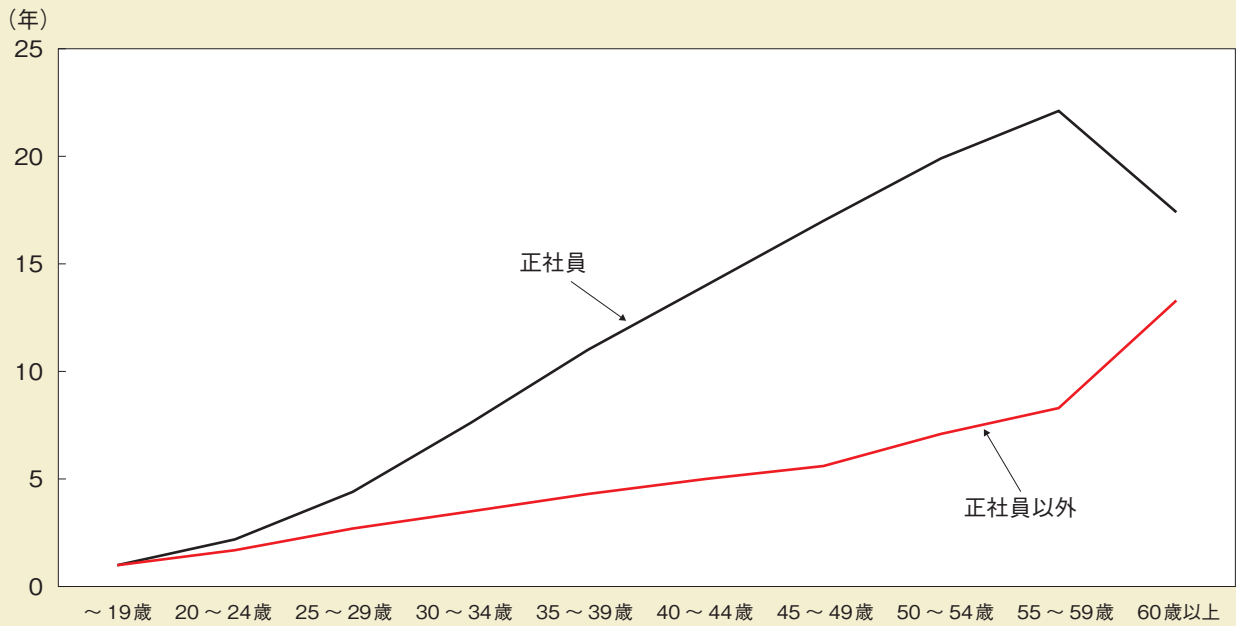


資料出所 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」(2009年)

(注) 1) 数値は企業規模計(10人以上)のきまって支給する現金給与額の平均値。

2) 60歳以上の勤続年数は、60～64歳、65～69歳、70歳以上の平均金額の加重平均により算出。

第1 - (1) - 20図 雇用形態・年齢階級別平均勤続年数

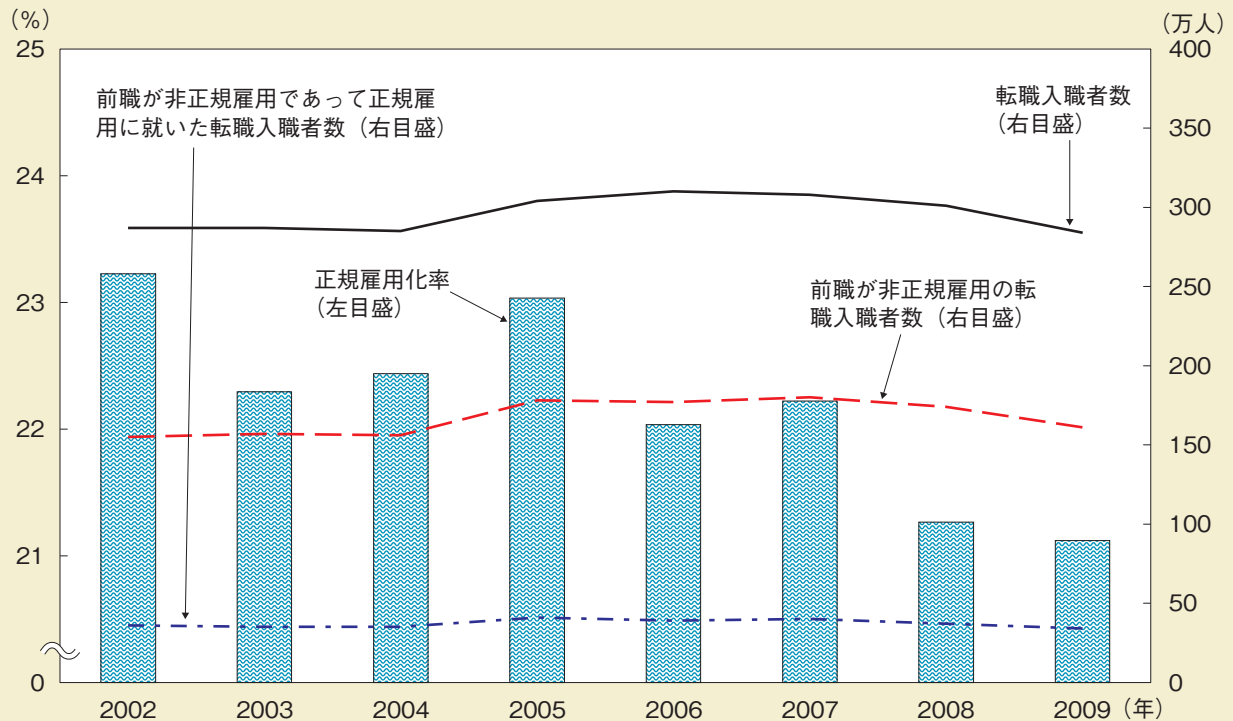


資料出所 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」(2009年)

(注) 1) 数値は企業規模計(10人以上)

2) 60歳以上の勤続年数は、60～64歳、65～69歳、70歳以上の平均勤続年数の加重平均により算出。

第1 - (1) - 21図 転職入職者数の推移



資料出所 総務省統計局「労働力調査(詳細集計)」をもとに厚生労働省労働政策担当参事官室にて作成

(注) 1) 転職入職者とは、就業者のうち前職のある者で、過去1年間に離職を経験した者。

2) 正規雇用化率は、前職が非正規雇用の転職入職者数に占める、前職が非正規雇用であって正規雇用についての転職入職者数の割合である。

第1 - (1) - 22表により、非正規の職員・従業員及びその希望者の推移をみると、15～34歳層では2006年の362万人をピークに減少し、2009年には324万人となっている。

また、第1 - (1) - 23表により、パート・アルバイト及びその希望者の推移をみると、15～34歳層では2003年に217万人とピークを迎えた後、新規学卒者の就職状況が改善したこともあり徐々に減少し、2008年には170万人となったが、2009年は前年差8万人増の178万人となった。このうち、15～24歳層は2009年に87万人、25～34歳層は91万人で、2003年以降、15～24歳層で大きく減少したのに対し、25～34歳層では滞留傾向がみられる。また、35～44歳層は2009年に42万人となり、長期的に増加傾向にある。

なお、若年無業者（15～34歳の非労働力人口のうち、家事も通学もしていない者）の推移をみると、2009年は63万人と、前年差1万人減となった（付1 - (1) - 12表）。

第1 - (1) - 22表 非正規の職員・従業員及びその希望者

(単位 万人)

年	15～34歳			35～44歳	45～54歳
	15～24歳	25～34歳			
2002	323	153	170	56	61
03	341	159	182	60	61
04	359	163	196	73	61
05	360	155	205	77	65
06	362	150	212	82	63
07	348	138	210	95	62
08	344	137	207	101	62
09	324	125	199	101	65

資料出所 総務省統計局「労働力調査（詳細集計）」

(注) 「非正規の職員・従業員及びその希望者」は、男性は卒業者、女性は卒業者で未婚の者のうち、以下の者としている。

- ・雇用者のうち「非正規の職員・従業員」の者。
- ・完全失業者のうち探している仕事の形態が「非正規の職員・従業員」の者。
- ・非労働力人口で、家事も通学もしていない「その他」の者のうち、就業内定しておらず、希望する仕事の形態が「非正規の職員・従業員」の者。

第1 - (1) - 23表 パート・アルバイト及びその希望者

(単位 万人)

年	15～34歳			35～44歳	45～54歳
	15～24歳	25～34歳			
2002	208	117	91	25	25
03	217	119	98	29	26
04	214	115	99	28	25
05	201	104	97	30	25
06	187	95	92	32	25
07	181	89	92	38	23
08	170	83	87	35	22
09	178	87	91	42	26

資料出所 総務省統計局「労働力調査（詳細集計）」

(注) 「パート・アルバイト及びその希望者」は、男性は卒業者、女性は卒業者で未婚の者のうち、以下の者としている。

- ・雇用者のうち「パート・アルバイト」の者。
- ・完全失業者のうち探している仕事の形態が「パート・アルバイト」の者。
- ・非労働力人口で、家事も通学もしていない「その他」の者のうち、就業内定しておらず、希望する仕事の形態が「パート・アルバイト」の者。